

[ワークショップ2 / 子宮内膜症の癌化 Update (2) (画像診断・妊孕能温存手術・化学療法)]

## 卵巣癌のバイオマーカーとしての HBP-17の可能性

中国労災病院産婦人科

澤崎 隆, 村上 隆介, 北島 光泰, 廣岡由実子  
楨野 洋子, 勝部 泰裕

### 目 的

われわれはこれまでに、卵巣癌の診断や予後推定に有用なマーカーを検索するなかで、卵巣癌で過剰発現を示す遺伝子の検索を行ってきた。今回、腫瘍発生との関連が注目されている Heparin Binding Protein-17 (HBP-17) の卵巣癌における発現状態を検索したので報告する。また、子宮内膜症との関連についても検討した。

### 方 法

同意の得られた患者140例（正常卵巣14例，良性腫瘍13例，中間群13例，悪性腫瘍100例）からの手術検体より mRNA を抽出し，RT-PCR 法を用いて HBP-17 の mRNA 過剰発現を検索し，進行期や組織型との関連性を検討した。

### 成 績

HBP-17 の mRNA 過剰発現は，正常卵巣では

ほとんど認められなかったのに対し卵巣癌の初期では有意に認められた。しかし，癌の進行と共に発現が低下した。また組織型との検討では，明細胞腺癌が他の組織型（漿液性腺癌，類内膜腺癌，ムチン性腺癌）に比較して過剰発現を示した。また，子宮内膜症を合併している症例では，HBP-17 の mRNA の発現が強い傾向が認められた。

### 結 論

今回の結果から，HBP-17 は卵巣癌初期の発育に関与している可能性が示された。また明細胞腺癌で HBP-17 の mRNA の過剰発現が認められたことから，明細胞腺癌診断の補助マーカーに有用である可能性が示され，子宮内膜症との関連も示唆された。